

第2回

広げよう『野生動物の歩道橋』

～コリドーで繋ぐ森と命～

11/22(火)

外苑前・TEPIAホール

入場無料

日時：2016年11月22日(火)
13:00～18:00 受付開始 12:30～
※18:00より懇親会があります(有料)

会場：港区北青山・TEPIAホール
(高度技術社会推進協会)4F

定員：200名
※事前申込先着順



会場アクセス

参加には事前申込みが必要です。
下記 URL よりご予約をお願いいたします。



道路や開発による
森林の分断・孤立
の影響、アニマルパ
スウェイなどの対
応策の開発・普及
およびこのような

取り組みを利用した教育についての情報を共有し、
生物多様性の保全を検討するためのシンポジウムです。
道路管理者、道路利用者(企業・市民の皆様)、地域自然保護団体など、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

基調講演

世界の野生生物と交通の現状を『HANDBOOK OF ROAD ECOLOGY』にまとめられた編著者 Rodney van der Ree 氏(メルボルン大、写真左)ならびに、森と命を繋ぐアニマルパスウェイを英国で実現した自然保護団体の研究者 Ian White 氏(PTES、写真右)をお招きし、我が国の現状と対比して、より一層の進展のための情報の共有と意見交換を行いたいと思います。(同時通訳有)



 Animal-pathway & Wildlife Association

 Animal-Pathway Research Society

 JOPPR
ニホンヤマネ保護研究グループ

国連生物多様性の10年
日本委員会連携事業



参加お申込は <http://www.animalpathway.org/>



時間	講演内容	講演者
13:00~13:15	開会挨拶	(一社) ApWA 代表理事 大竹 公一
	共催者挨拶	(公財) キープ協会 理事長 浅田 豊久氏
	後援者挨拶	経団連自然保護協議会企画部会長、三井住友信託銀行業務部審議役、経営企画部CSR推進室審議役 石原 博氏
13:15~14:00	基調講演1：英国における樹上性動物用ブリッジ：ヤマネが道路を横断する方法	絶滅危惧種のための市民トラスト (ヤマネおよび教育担当) イーアン ホワイト氏
14:00~14:45	基調講演2：樹上性野生動物のために樹冠世界を再び繋ぐ	メルボルン大学 准教授 ロドニー・ヴァンダー・リー氏
14:45~15:05	「生息地分断化がネズミの個体群の遺伝的多様性に与える影響」	福山大学准教授 佐藤 淳氏
15:05~15:25	ニホンリスと森林 -千葉県における生息の変遷調査の事例から-	アニマルパスウェイ研究会 株式会社セレス 環境部 専門役 矢竹 一穂氏
15:25~15:40	休憩 (パネル用配置換え)	
15:40~16:00	「野生生物と交通」研究発表会15周年記念事業 野生生物と交通：エコインフラと道路の安全性に関する国際シンポジウム開催報告	(一社) 北海道開発技術センター ロードエコロジー研究会 野呂 美紗子氏
16:00~16:20	①道路生態研究会の取り組みの紹介 ②高速道路における動物移動経路確保の事例	道路生態研究会 株式会社地域環境計画 園田 陽一氏 (株) ネクスコ東日本エンジニアリング 環境緑化部 調査役 宮下 修一氏 東日本高速道路(株) 関東支社 木更津工事事務所 副所長 佐藤 諭一氏
16:20~16:40	アニマルパスウェイの実施事例及び国際発信連携	(公財) キープ協会ヤマネミュージアム館長・ 関西学院大学教授 APRS、JDPR、ApWA 会長 湊 秋作氏
16:45~17:45	<パネル・ディスカッション> ・樹上性野生生物の人工的経路についてのこれまでのオーストラリア・英国・日本の取り組みとこれからの国際協働方法 ・APWの国際普及と教育について	コーディネーター：湊 秋作氏 パネラー：基調講演の海外講師2名 ロードエコロジー研究会 (株) 長大 浅利 裕伸氏 アニマルパスウェイ研究会 (公財) キープ協会 饗場 葉留果氏
17:45~17:50	閉会挨拶	アニマルパスウェイ研究会

※18時より懇親会 (参加費 4,500円)

【お問合せ先】 (一社) アニマルパスウェイと野生動物の会 E-mail: info@animalpathway.com

主催：(一社) アニマルパスウェイと野生生物の会、(任) ニホンヤマネ保護研究グループ、(任) アニマルパスウェイ研究会

共催：(公財) キープ協会、(一社) 北海道開発技術センター、(任) ロードエコロジー研究会、(任) 道路生態研究会

後援：国連生物多様性の10年日本委員会、国土交通省国土技術政策総合研究所、経団連自然保護協議会

アニマルパスウェイ研究会メンバーおよび賛助企業：株式会社エンウィット、清水建設株式会社、大成建設株式会社、東日本電信電話株式会社、新日本開発工業株式会社、株式会社東光コンサルタンツ、国際航業株式会社、大日コンサルタンツ株式会社

協力：キリンビバレッジバリューチェーン株式会社、サントリービバレッジサービス株式会社

助成：三井物産環境基金、公益信託経団連自然保護基金